

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月09日

計画の名称	原駅周辺地区における交通結節点の機能強化													
計画の期間	平成29年度 ~ 平成33年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	沼津市													
計画の目標	<p>原駅町沖線は、乗降客数約4,700人(H26)のJR原駅を起点として国道1号を経て県道原停車場線にリンクする幹線道路で、市の西の玄関口として中心的な役割を担っている。</p> <p>第10次沼津市交通安全計画で策定されたバリアフリーに配慮した駅前広場整備を行い、誰もが安全で容易に原駅周辺を移動することができるよう、交通結節点としての機能強化を図るものである。</p> <p>また、先行して整備されている市内鉄道駅前広場（沼津駅、片浜駅）と合わせて、沼津市内の駅前広場整備率を向上させ、駅から駅へ、駅から周辺地区への移動を容易にし、移動困難者の市内移動可能範囲の拡大を図る。</p>													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		610	A	610	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H33末)
1	歩行空間の改善（原駅北口地区における移動困難箇所を減らす。） 歩行空間の改善 原駅北口地区の移動困難箇所の解消（原駅から原地区センターまで）	5箇所	箇所	1箇所
2	沼津市内の鉄道駅にバリアフリーに配慮した駅前広場を整備する。 駅前広場整備 沼津市内の鉄道駅の駅前広場整備数 整備済駅数（総駅数4駅のうち）	2箇所	箇所	3箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	沼津市	直接	沼津市	S街路	改築	(都)原駅町沖線(駅前 広場)	駅前広場整備 A=2,700㎡	沼津市						610	-	
												小計						610	
											合計						610		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
市内部審査会（各部長、まちづくり統括監で構成される審査体制）による評価を実施し、とりまとめた原案をもとに、沼津市公共事業評価監視委員会（有識者3名、公募委員2名による審査体制）による評価を実施。	令和4年12月
	公表の方法
	評価完了後、市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>歩行空間の改善 原駅北口地区の移動困難箇所の解消（原駅から原地区センターまで）</p> <p>【目標値】 5箇所 1箇所</p> <p>【実績値】 5箇所 3箇所</p> <p>駅前広場整備 沼津市内の鉄道駅の駅前広場整備数・整備済駅数（総駅数4駅のうち）</p> <p>【目標値】 2箇所 3箇所</p> <p>【実績値】 2箇所 2箇所</p> <p>これにより、原駅北口地区における移動困難箇所は、5箇所から3箇所になり、歩行者が安全安心に通行できる空間が整備促進された。沼津市内の鉄道駅のバリアフリーに配慮した駅前広場数については、事業は完了していないものの、良好な歩行空間の整備が促進された。また、無電柱化により良好な景観が確保されたと考える。</p> <p>引き続き、原駅周辺における安全安心な空間整備・景観形成を推進するため、今後も事業を継続し、早期に更なる効果の発現を目指すこととしたい。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<p>本事業と合わせて静岡県が進める県道原停車場線の道路改良事業（歩道の整備・無電柱化）により、地震等による電柱倒壊等の道路閉塞を解消した防災性能の向上が図られたほか、良好な景観形成や歩行者の安全で快適な通行空間の確保が図られた。</p>
特記事項（今後の方針等）	
<p>原駅町沖線（駅前広場）は、用地交渉により若干の遅れは生じているが、次期計画で事業を継続させており、令和4年度に駅前広場の改修が完了し供用予定である。</p> <p>また、接続する県道原停車場線と合わせて無電柱化事業を推進しており、市の西の玄関口として、地震等による電柱倒壊等の道路閉塞を解消した防災性能の向上が図られるほか、良好な景観形成や歩行者の安全で快適な通行空間の確保を目的に引き続き事業を進めていく。</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	1箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得が難航したことに伴い工事の進捗が遅延し、計画期間内に整備が完了しなかったため ・現在、次期計画（R4～R7）に移行し事業継続中 ・駅前広場については、令和4年度（R5.3）に整備完了・供用の見込み（令和4年度末に目標の達成予定） ・無電柱化については、令和7年度に整備完了の見込み
	最終実績値	3箇所	
2	最終目標値	3箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得が難航したことに伴い工事の進捗が遅延し、計画期間内に整備が完了しなかったため ・現在、次期計画（R4～R7）に移行し事業継続中 ・駅前広場については、令和4年度（R5.3）に整備完了・供用の見込み（令和4年度末に目標の達成予定） ・無電柱化については、令和7年度に整備完了の見込み
	最終実績値	2箇所	